

# 「消すまでは心の警報 ONのまま」

## 11月9日から15日は秋季全国火災予防運動

平成24年中の全国出火件数は44,102件で、そのうちの2割近くが放火や放火の疑いによる火災です。放火を防ぐためには、家の周りを整然とし、暗がりには照明器具を設置するなど「放火されない環境づくり」をしましょう。町の出火件数は、4件と前年よりも5件減っています。



### ●暖房器具による火災に注意

特に石油ストーブは、少しの油断や不注意から火災が起こりやすく、損害も大きくなる傾向にあるので、今一度使い方を考えましょう。

### ●灯油の保管等

灯油は性能試験をクリアした専用容器に必要な量だけ入れ、日の当たらないところで保管しましょう。

### ●使用前の清掃

ストーブの空気取入れ口にホコリはないか、汚れた灯油や水の混じった古い灯油を使っていないか点検しましょう。

### ●ストーブ火災の予防と対策

「周囲に燃えやすいカーテンや洗濯物を置かない」、「近くでスプレー（殺虫剤やヘアスプレー）を使わない」、「給油・外出・就寝時には必ず電源を切る」などを守りましょう。

### ●初期消火で被害の大きさが決まる

初期の段階で的確に消火をするためには、正しく消火器を使う必要があります。

### ●消火器の使用方法

- ①黄色い安全栓を引き抜く
  - ②ホース・ノズルを火元に向け、2〜3メートルのところまで近づく
  - ③レバーを強く握り、薬剤を放射
- ※屋内では消火後に逃げられるよう、避難口の確保をし、炎が天井まで広がったら消火器での消火は不可能なため、すぐ避難してください。

### ▼消火器は、火元に向けて

使用し、屋外では風上から消火するように心がけましょう。



●住宅用火災警報器は設置した？  
住宅用火災警報器の設置は義務化されています。火災時に逃げ遅れないよう、まだ設置していない人は早急に設置しましょう。

## 防火ポスターコンクール審査結果

町内小学4年生から213点が集まり、審査会で10作品が選ばれました。すべての作品は11月8日(金)から22日(金)まで保育園・教育総合センター2階の学びの広場で展示します。

- ✦ 最優秀賞（町長賞）  
葉山小学校 森田 理香子さん
- ✦ 最優秀賞（議長賞）  
葉山小学校 高橋 希波さん
- ✦ 優秀賞（消防長賞）  
葉山小学校 長坂 陽春さん  
葉山小学校 加茂 響さん  
長柄小学校 滝川 茉弥さん
- ✦ 優良賞（危険物安全協会長賞）  
葉山小学校 岸 美緑さん  
葉山小学校 高島田 賛湖さん  
葉山小学校 遠島 悠生さん  
葉山小学校 堀 広太さん  
葉山小学校 齋川 ころろさん





# 11月9日は119番の日

## — 的確な通報で、確実な活動を —

平成24年中の葉山町119番着信件数は、固定電話からが1,394件、携帯電話からが411件、その多くが救急に関する通報でした。119番は火災・救急等を通報する緊急回線です。町内で発生している災害の問合せはテレホンサービス（☎875-4000）、受診可能な医療機関の問合せは消防本部（☎876-0119）までお願いいたします。※どちらも24時間対応

※携帯電話での通報は、近隣の消防本部につながるがありますが、葉山町消防本部に転送されますので、切らずに落ち着いて119番受付員の指示に従ってください。

### 火災発生時



火事ですか？救急ですか？

「火事です。」

場所はどこですか？

「堀内〇〇番地の△△アパート□号室です。」  
（自宅所在地までの説明方法を書いたメモを電話機の近くに貼っておくと便利！）

あなたの名前とかけている電話番号は？

「私の名前は・・・電話番号は・・・です。」

何が燃えていますか？

「自宅1階のストーブが燃えています」「コンビニの駐車場で自動車のボンネットから火が出ています」など具体的に説明。

わかりました。消防車が行きます。

※消防車が見えたら、案内をしてください。

また周りの人への避難呼びかけや危険がなければ初期消火を試みましょう。

### 救急車が必要



火事ですか？救急ですか？

「救急です。」

場所はどこですか？

「堀内〇〇番地の△△アパート□号室です。」

あなたの名前とかけている電話番号は？

「私の名前は・・・電話番号は・・・です。」

誰がどうしましたか？

「86歳男性の意識がありません」「車と自転車の交通事故で自転車の20代男性1名が腕から出血しています」など病人・ケガ人の年齢や性別、交通事故は「何と何の事故なのか、ケガ人の数」を具体的に説明。

わかりました。救急車が行きます。

※意識や呼吸がない人がいた場合、通報者に救命活動を手伝ってもらうことがあります。そのため電話は切らず、119番受付員の指示に従ってください。



スマートフォンを  
使っている人へ  
消防本部からのお願い

最近、スマートフォンの普及に伴い、誤作動による119番の間違い電話が多発しています。消防本部では、通報を受信した時に応答がない場合、発信先に火災・救急等災害でないか確認のため折返し電話しますので、間違いの場合はその旨をお伝えください。